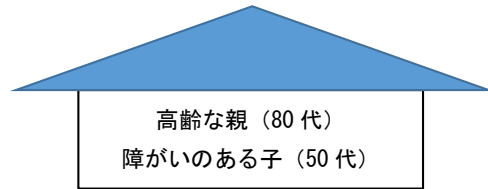


障がい者の「親亡き後」を見据えた支援について

令和元年度の協議内容 将来の不安から具体的な課題を抽出し、解決策を検討する
⇒次期計画への具体的な方策の掲載を目指す

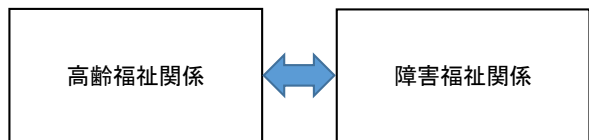


はい

いいえ

市や関係機関とのつながりがありますか？

【課題1】
支援が必要な家庭をいかに把握するか
⇒地域包括支援センター
民生委員（高齢者実態調査）
ひきこもり支援センター
かかりつけ医



障害者手帳は持っていますか？

いいえ

【課題2】
必要なサービスを受けられるようになるまで、いかに支援するか
・障害者手帳を持っていない場合
⇒障がいの受容、身体手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳の取得
・障害者手帳を持っている場合
⇒実態調査、必要なサービスの精査

はい

障害福祉サービスは使っていますか？

いいえ

【課題4】
いかに地域での生活を維持するか
サービスの利用継続、加齢に伴うサービスの見直し、介護保険制度へのスムーズな移行（65歳到達以降）

はい

障害福祉サービスを利用することで、障がいのある方がひとり暮らしできますか？

はい

いいえ

理由はどうしてですか？

【課題3】 障がいのある人が、地域で生活していくために必要なものは何か？

- | | | |
|---|---|---|
| <p>3-1 住む場所が確保できない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の残した住宅で暮らす場合
固定資産税、メンテナンス、自治会等 ・入所支援施設・グループホームに入所する場合
負担金 ・賃貸住宅に入所する場合
家賃、自治会、緊急連絡先、保証人等 | <p>3-2 収入が足りない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在（将来）、得られる収入
障害年金、障害者手当、就労収入
工賃、生活保護 ・現在（将来）、必要な支出
家賃、光熱水費、食費、健康保険料、医療費 ・収支見込はどうか ・減免制度、助成制度を利用しているか | <p>3-3 意思決定が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べたいもの、見たいテレビ番組、着たい服など日常的なことは決められる場合 ・日常的なことも決めるのが難しい場合
⇒成年後見人、地域福祉権利擁護事業、障害福祉サービス、計画相談支援事業所、委託相談支援事業所 |
| <p>3-4 お金の管理が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活費の管理ができる場合 ・日常の買い物など少額のお金の管理ができる場合 ・お金そのものを理解するのが難しい場合
⇒成年後見人、地域福祉権利擁護事業 | <p>3-5 ひとりで過ごすことが難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中⇒生活介護・就労支援・日中一時支援などの通所系サービス、地域での交流 ・夜間⇒グループホーム、短期入所、ライフサポート事業 ・1日⇒短期入所、施設入所、グループホーム | <p>3-6 必要なサービスが受けられない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給量が足りない
⇒非定型審査会 ・支給決定を受けたが、契約する事業所がない
⇒計画相談支援事業所・地域生活支援ネットワークの活用、事業所の充実、人材の育成 ・望むサービスが存在しない
⇒自立生活援助その他新規サービスの活用 |
| <p>3-7 地域に溶け込むことが難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の商店街など、生活に必要な場所で顔なじみになるためにはどうしたらよいか ・地域の行事に参加するためにはどうしたらよいか
⇒自立訓練、移動支援等を活用して、地域へ | <p>3-8 災害時に対応できない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の状況が理解できない ・災害時に避難することができない
⇒災害時要援護者避難支援制度への登録
地域避難訓練への参加
地震防災用具の準備
サービス等利用計画への災害時必要な支援の記載 | <p>3-9 困ったときに相談するところが分からない</p> <p>まず、連絡するところはどこか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画相談支援事業所、委託相談支援事業所 ・基幹相談支援センター ・地域生活支援ネットワーク ・成年後見人 ・民生委員 ・地域の支援者 ・自立生活援助などのサービス事業所 |